



ミュンヘン便り

～ Pilsen ～

打ち合わせでPilsenに行ってきました。Pilsenと聞いてどこの国か、ぱっとお分かりになる方は、ビールがお好きな方とお見受けします。Pilsenから生まれたビールはドイツではPilsner Urquellと呼ばれます。よくピルスナーと呼ばれるタイプのビールの元祖は、この町で生まれ、今でも製造されています。

Pilsenは、ドイツとチェコとの国境近くの、チェコにある町です。チェコ語では、Plzenと書きます。この町は、ドイツに近いこともあって、たくさんのドイツ企業が進出して工場を作っている他、日本の企業など海外の企業が多く進出しています。そのせいか、駅の正面玄関となっている建物は、ザ・ヨーロッパと言わんばかりの堂々とした立派な建物です(写真)。中も天井が高く、壁画風の絵が飾ってあり、高い窓から光が注ぎ、日本の駅とはかなり違う雰囲気です(写真)。強いて言えば、東京駅の丸の内南口改札のドームを大きくしたような感じでしょうか。

打ち合わせが終わった夜、ここに来たから

にはやはりこれを飲まねば、と注文した元祖ピルスナーは、丸みを帯びた取手付のグラスに入っていました(写真)。手前は300cc、奥は500ccです。以前飲んだケルンのピルスナーや日本のビールよりも、元祖ピルスナーのほうが苦みが少なく、口当たりが良いように感じました。チェコのレストランでは、ビールより水のほうが高いのだそうです。われわれが夕食を取ったレストランでも確かにその通りで、ビールよりも水、コーヒー、お茶などのほうが高かったのは印象的でした。お茶と言えば、生のショウガを細かく刻んでフレンチコーヒー用のポットに入れたショウガ茶があったのは、日本人にとってはうれしい驚きでした。ドイツのカフェやレストランでも、生のショウガを使ったお茶を見たことはまだないのです。

ミュンヘンからPilsenまでは、直通の電車で4時間強。東京ー岡山間を新幹線で移動する感覚でしょうか。ただし新幹線と違い、ミュンヘンーPilsen間を走る電車は、なぜかよく揺れます。前回行ったときは、車両のサス





ペンションが柔らかすぎて上下動があまりに激しく、車内で仕事をしようと思っていた私と同僚は、開けたノートパソコンを同時に閉じて顔を見合わせました。あれは2等車で行ったために車両のサスペンションが良くなかったのであろうと考えた私は、今回は張り込んで1等車にしてみました。前回よりもさらに使い込んだ雰囲気車両の半分が1等車、残り半分が2等車という構成。かろうじて文献を読むことはできても、ノートパソコンのディスプレイを見るなんてとんでもない。チェコからミュンヘンへの帰りの電車はさらに揺れが激しく、文献を読むのすらできないほどでした。日本の新幹線であれほどのスピードを出しながら、車内での読書やノートパソコンの使用に何らストレスを感じさせない技術がどれほどありがたく素晴らしいものか、つくづく痛感したのです。

帰りの車内での4時間、ノートパソコンを使わず、文献を読むことすらできず、外を眺めてもドイツとチェコとの国境地帯の景色は大変単調で、高低差が全くなく、行けども行けども作物畑と小さい集落との繰り返し。食堂車の揺れが比較的少ないことを発見した我々は、暇つぶしと食事とを兼ねて、食堂車に陣取りました。食堂車では、サンドイッチやコーヒーなどのスナック類・飲料を販売している他に、温かい食事を提供しています。ジャガイモスープ、ゲーラッシュ（ハンガリ

一のシチュー)、スパゲティボロネーゼ、ちょっとした肉料理など。キャパシティは小さ目で、4人掛け相当のテーブルが2つ、バーのような高めの椅子が6つ、計14人というところ（写真）。ですが、椅子のクッションの質も一等車のそれよりはるかに快適で、本当はここに長居したかったので、スープのおかわりを頼んだりして時間稼ぎしたのですが、ノートパソコンを手にもバーに座ったお兄さんの眼力プレッシャーに押されて席を立ちました。

Pilsenに駐在されている日本の発明者の方によると、日本からの駐在の方同士で車を運転してミュンヘンのオクトーバーフェストを日帰りで見に行ったりされるそうです。ドイツのクリスマスマーケットが始まったら見に行きたいとも。地続きだと、国境を超えてお祭りに行くのも、いとも簡単にできてしまうのですね。

筆者紹介

稲積 朋子（いなづみ ともこ）

1994年弁理士試験合格。2012年ヨーロッパ弁理士試験合格。現在、GIP Europe Patentanwaltskanzlei所属。1997年、新樹グローバル・アイビー特許業務法人入所し、主に国内外の出願及び権利化業務を担当。2007年11月より、ミュンヘンの現地提携事務所に駐在。2009年1月、GIP Europe (GIPグループミュンヘンオフィス) 設立。日本企業からのヨーロッパ出願・中間処理・異議申立・侵害品ウォッチングや、ヨーロッパ企業からの日本出願・中間処理業務を行う。趣味は、山登り、ぼーっとすること、寝ること、健康づくりに励むこと。